



8月2日(土)第70回いわき花火大会が開催されました。テーマは、「つなぐ70年の軌跡から新たな時代へ」とし、アクアマリンパークの夜空に1万2千発を超える花火が盛大に打ち上がりました。迫力満点の市民花火や音楽に合わせてダイナミックに打ち上がる創作花火に多くの来場者が魅了されました。

カムチャツカ半島地震・台風9号の心配もありましたが、関係機関のご理解により無事に開催することができました。協賛いただいた各企業・市民の方々ははじめ、いわき花火大会実行委員会の入念な準備により、滞りなく小名浜の夏の夜の風物詩を楽しむことができました。事前チケットを配布し、

つないだ夏 このさきも
第70回いわき花火大会開催

おなはま
海遊祭



発行所
小名浜まちづくり
市 民 会 議
TEL: 52-1275
発行日
令和7年8月31日

8月1日、去年に引き続きアクアマリンふくしま入口「いわき・ら・み・ユウ」までの区間でいわきおどり小名浜大会が開催されました。会場では約2400人の参加者が「どんわっせ!」の掛け声で大いに盛り上がり、おどりを楽しく、自分でおどる楽しさ、それぞれに小名浜を盛り上げていきたいですね。



日差しを避けるためのテントを設置するなどして、安全で快適な運営に努めました。また、イベントの目玉ともいえるジェットスキーのアクロバットショー、国内外で活躍する選手たちの華麗な演技と、観水エリアでの水かけ(スプラッシュ)でびしょ濡れになった来場者の歓喜の声で大いに盛り上がりました。陸上ではキッチンカーの出店やステージショー、働くくるまの展示や体験乗車など、様々なイベントが開催され、「いわき花火大会」のブレイクポイントとしては十分すぎるほどの役割を果たし、8月1日の「いわきおどり小名浜大会」、そして2日のメインイベントへとバトンを繋いでいきました。



警備委員長
木船 憲一

今年の花火は直前まで天候が不安定でしたが、70回目の節目を記念する素晴らしい花火が打ち上げられ、多くの皆さんを魅了するものとなりました。私たち警備委員会の仕事は裏方的なものが大半です。前年の課題や反省を踏まえ、警察・海上保安部・消防をはじめ各関係機関、各委員会メンバーと連携し、来場者はもちろんのこと大会に携わるスタッフの安全を守ることが使命です。今年も、いわき医師会より医師を派遣いただき救護室を設置、民間の救急救命士の方々の協力も得ながら不測の事態に備えました。また交通規制等の情報を看板などを使用して周知するとともに、警備会社の㈱アム・エフと警備計画書の立案に取組み、イオンモールいわき小名浜・運転業務に携わる各社と駐車場や予約バス・タクシーの準備をして来場されるお客様の足の確保に努めました。今年の花火は無事に終わることができましたが、既に来年の開催に向け活動を開始しています。また来年、皆さんが花火を見て笑顔になれるように!



設営委員長
若松 真寿

花火設営委員会ではボランティア・協力会社・委員会メンバーでいわき花火大会の会場設営を行いました。今年是有料席チケットの売れ行きが好調で、7月初旬の時点で8割ほど売れている状況でした。7月23日から会場設営が始まり、気温30度を超える日もある中、着々と設営を進めていきましたが、7月30日にカムチャツカ半島で起きた地震による津波警報で一時ストップ、その日は会場付近にも近寄ることが出来ませんでした。次の日には注意報に切り替わりましたが、今度は台風が接近しているとの事で、風対策も講じながらの設営となりました。当日は、台風接近の影響で朝から雨模様、風も若干強い状況でしたが、花火を楽しみにしている市民の方々のために多くの関係者のお力をお借りし、お客様を迎える準備を全て整えることが出来ました。関わって頂いたすべての方々に感謝し、今後もより良い大会を目指します。

「いわき花火大会」を陰で支える「警備委員会」「設営委員会」の委員長を紹介させていただきます。

いわき花火大会 裏の立役者たち

6月
全体議

小名浜港における観光業の可能性について

6月24日(火)まちづくりステーション小名浜において全体会議が開催されました。講師に(株)いわき市観光物産センター 専務取締役小針正人氏、磐栄ホールディングス(株) 代表取締役村田裕之氏をお招きして「小名浜港における観光業の可能性について」と題してご講話頂きました。

います。道の駅に指定されると24時間利用可能となる施設にするために設備の充実が進み、ますます利用しやすくなります。道の駅のいわき・ら・ら・ミユウの新しい歩みが地元の私たちはもちろん、市外や県外から来る方々の小名浜の楽しみを増やす一助になることを期待します。

構想をしています。加えて運行回数を増やせるように、関係各所から情報を集め検討中ということですね。また海上の遊覧だけでなく、ヘリコプターを使った空からの遊覧という夢のような事業の話もありました。もちろんヘリコプターを使うと

なれば、ヘリポートや安全確保の問題など課題は山積していますが、実現したら私たちの暮らしも便利に安心になると思います。サッカースタジアム整備予定も控えている小名浜地域に活気があふれ、住みたいまちに選ばれて、豊かな自然を楽しむことのできる自慢の“まち”に成長していくことを見守りたいと思います

浜海岸の様子には感慨深い

スタジアムの未来
小名浜の未来

7月16日(木)小名浜東小学校において、6年生児童71名によるワークシヨップが、開催されました。目的は、いわきFCSスタジアム整備候補地として『小名浜』が選定されたことに伴って、

供たちはそのビデオを食い入るように目をキラキラさせて見ていました。スタジアムは「ここにくれば みんながいる」という想いを根底にしていることが伝わってきました。

場・2018年イオンモ
ルいわき小名浜がオーブン
し、小名浜港の周辺環境は
整備が進み活気が生まれて

います。が、運行ルートを拡大し、四倉港や原発周辺の復興状況を学ぶクルーズなど、さらに多彩な航路を拡げる

「スタジアムの未来・小名浜の未来」を子ども目線で意見を出し合うことでした。初めに、主催者である小

さらに、日本女子体育大
学の上林教授から、子供た
ちにわかりやすい易しい言
葉でお話をして頂きました。

▶講師を務めた小針氏(上) 村田氏(下)



次に、小名浜支所の吉田主幹は、昔の小名浜・今の小名浜・これからの小名浜と題して話され、昔の小名

山の意見やアイデアを出し合いました。

小名浜の未来は、希望にあふれていると実感したひ

メイドの
ささやき

季節の変わり目、衣替
えの季節と言われ、月
下です。今日の残暑は
はうん言華あつては
まらず、半袖姿の子供
たちをいつまでも見か
けます。秋の味覚は今
まで通りでお願いはし
いですよ。ねり少し前の
新聞では今年の秋刀魚
は去年より少し形が大
きく、値段は昨年並み
との事でした。我が家
の食卓にあまり上がら
なくなつてしまつた秋
刀魚です。今年は冷た
いビールを片手に楽し
みたいと思います。十
せん夜のお団子も外せ
ませんね。何だかんだと
「食欲の秋」到来！体
重管理を気を付けたい
と思ひます。

T
•
M

と時でした。



小名浜まちづくり
市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

人力戦艦!?

汐風澤風

YOUTUBE

配信は3月6日

會員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3000 円 企業会員：30,000 円 団体会員：12,000 円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町 11-1（まちづくりステーション小名浜）

TEL : 52-1275 FAX : 52-1415

<http://www.onahama.jp/> E-mail : info@onahama.jp



©小名浜まちづくり市民会議／福島ガイナックス

この広報紙は、小名浜地区行政嘱託員（区長）連合会の御協力により配布しております。